

「電子物理科学序説 A・B」 ナノエレクトロニクスグループ
2019 年度レポート課題

ナノエレクトロニクスグループの序説は

- 酒井教授による講義と酒井研見学会
- 阿部教授による講義と阿部研見学会
- 若家准教授および金島准教授による講義と研究室見学会

の3回行います。教員ごとにレポート提出が必要です。

1. 各講義の内容を要約し(400~600字程度)、次に講義内容の中で重要だと思ふ点について理由をあげて説明しなさい。(図や表を適宜用いること。分量のめやすは、それぞれの講義について1ページ程度以上。)
2. 各講義ごとに各自が感心を持った事項(1つ)に関連して自分で設問を設定し、その設問について文献等の調査を行い、回答を詳細に記述してください。

提出先： 酒井教授による講義のレポートは、
D431(電子光・システム科学両分野共同資料室(1))
入って右にある「藤平」のメールボックスに提出。
阿部教授による講義のレポートは、極限科学センター211号室に提出。
若家准教授による講義のレポートは、
E112のドアに設置してある「若家宛レポート」と書かれた箱に
提出。
金島准教授による講義のレポートは、
CLEにてWordまたはPDFファイルを提出。

提出期限： A班：5月24日 E班：6月14日 B班：7月5日
F班：7月26日 C班：10月25日 G班：11月22日
D班：12月13日
H班：1月20日(1/17が休講のため、締め切りが月曜日となっています)

注意：レポートの書き方に関する一般的な注意に関しては、「阪大生のためのアカデミック・ライティング入門」<<http://hdl.handle.net/11094/54512>>を読んで、書かれている指示に従って下さい。そこにも書かれていて重複しているものもありますが、以下に特に気をつけてもらいたいことを箇条書きにしておきます。

1. 用紙はA4(縦置き)、文字は横書きにする。左側数カ所をホチキスなどでとめる。
2. タイトル、講義実施年月日、レポート提出年月日、学籍番号、所属する序説の班、氏名を記述した表紙をつける。タイトルは、「電子物理科学序説(ナノエレクトロニクス)レポート(担当教員名)」とする。
3. 黒または青のペンを使い読みやすい字で丁寧に書く(鉛筆、シャープペンシルはダメ)。もちろん、ワープロ(パソコン)を使っても良い(むしろ推奨される)。もちろん、図などをカラーにしても良い(むしろ推奨される)。
4. ページ番号をつける。
5. セクションやサブセクションの番号とタイトルをつける。
6. 図や表には番号とキャプションをつける。
7. レポートはすべての課題を完成させてからまとめて提出する(複数の分冊にしない)。
8. 提出期限当日の夕方5時が締切。締切から遅れると減点。

9. 完成度の低いレポートは再提出を指示することがある。
10. 「電子物理学序説(ナノエレクトロニクスグループ)」の成績は、出席(質問をしたり議論に加わったりする積極さ)とレポートの評価で決まります。レポートの評価基準(採点基準)を掲載しておきます。がんばっていい成績を獲得してください。

電子物理学序説 A・B (ナノエレクトロニクス) レポート評価基準

		項目 番号	評価項目	配点	
積算(加点)	形式	F-1	A4用紙縦置き, 文字は横書き, 左側数カ所をとめる	3	
		F-2	表紙がついていて, 必要なことが書かれている	3	
		F-3	ページ番号がついている	2	
		F-4	セクションの番号とタイトルがついている	2	
		F-5	図や表に番号とキャプションがついている	2	
		F-6	レポートの最後に引用リスト(参考文献リスト)がついている	5	
		F-7	黒または青のペン, パソコン(ワープロ)が使われている	5	
		F-8	丁寧に書かれている	10	
		F-9	正しい(ふさわしい)日本語で書かれている	6	
	内容	課題1	1-1	400~600字程度のわかりやすい要約がある	12
			1-1	理由を明確に述べて重要点をあげている	12
			1-1	図表を適切に利用している	9
		課題2	2-1	自分で設定した設問が明示されている	3
			2-2	関連する情報(文献等)が調査されている	5
			2-3	文献等に書かれていることと自分の意見が明確に区別されている	5
			2-4	課題に対する回答内容のレベル	10
	全体	3	文章が論理的・具体的で説得力がある	6	
	合計				100
	減点	S-1	提出期限が守られていない		-100
S-2		倫理的な問題がある。剽窃(コピー), 引用元を示さず引用など。		-100	